

研究の特色

宮崎大学は持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に資する取り組みを推進しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

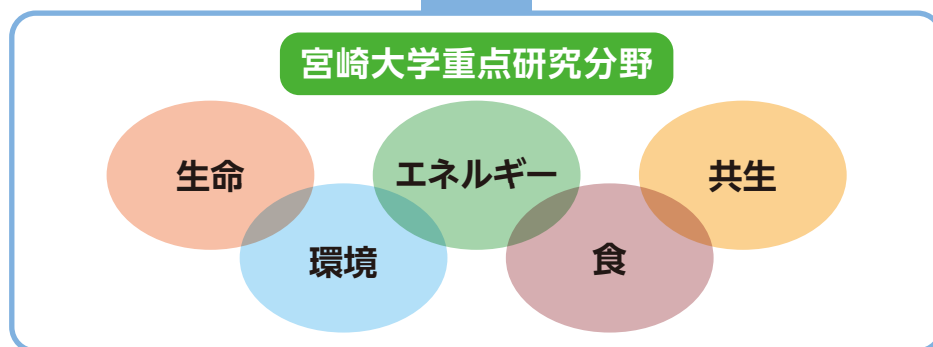


本学の強みである「生命・環境・エネルギー・食・共生」の各分野を横断した研究を推進

宮崎大学では、人類・社会の持続的発展、また、地域産業・地域経済の発展に寄与するため、「地域共生社会の実現に向けた研究の推進と社会実装」を全学的研究ミッションと位置付け、本学の強み、特色である「生命・環境・エネルギー・食・共生」の重点研究分野を横断させた3つの研究の柱を軸に研究プロジェクトを積極的に推進し、地域を始め多様な分野の課題解決に貢献するとともに、SDGsに掲げられている地球規模の課題解決に繋がる研究により、持続可能な開発目標の達成に貢献します。

全学的研究ミッション

「地域共生社会の実現に向けた研究の推進と社会実装」



第4期中期目標期間中に特に推進する3つの研究の柱

- 健康寿命日本一に向けた異分野融合研究
- 持続可能な社会を目指した次世代産業の創出
- 多様性を重視した地域社会の基盤構築

3つの研究の柱を軸とした30の研究プロジェクトにより、地域を軸としながらも世界を視野に入れた基盤研究から社会実装までを分野横断的かつ柔軟に推進し、喫緊の課題解決だけでなく確固たる知の集積を着実に実施し、地(知)の拠点としての地位を確立します。

重点研究分野における3つの柱と研究プロジェクト

健康寿命日本一に向けた異分野融合研究

- 生活習慣病及び血管・循環器疾患の予防と治療に関する研究
- がん・難治性疾患の予防と診断・治療に関する研究
- 人獣共通感染症・新興再興感染症制御に向けた基盤研究
- HTLV-1感染症等ウイルス性疾患のメカニズムと治療法開発
- 超高齢化社会における認知症予防等心身機能の維持・回復によるQOLの向上
- 機械知能を利用したQOLの向上と社会への応用
- 遠隔医療の導入と地域医療の高度化
- 精神神経障害の研究と自殺防止
- 体内現象の工学的解釈とその応用
- 食の機能性と安全性評価

研究プロジェクト一例

分野横断体制で取り組む循環・運動器疾患の克服による健康寿命の延伸

健康寿命日本一を目標に、行政・医療機関・市民団体などと連携して介護原因となる疾患の早期発見・予防に挑んでいます。みやざき健康キャラバン隊は、医学部を中心としたスペシャリストが県内イベントや健診会場・学校などへ出向き、家族で健康について考える講義や健康チェックなど、年間50件を超える啓発活動を繰り広げています。目下、寝たきり原因第1位の脳卒中を防ぐべく「宮崎の『かくれ心房細動』ゼロ!!作戦」を県内全域で展開しています。



持続可能な社会を目指した次世代産業の創出

- カーボンニュートラル達成に貢献する再生可能エネルギー技術とその利用の効率化
- 電気通信技術の基盤を支える技術要素の高度化
- 有機無機新規機能性材料の開発
- 宇宙・惑星・地球で起こる様々な自然現象の理解
- 農林水産物の品種改良及び生育環境の制御による高品質・高収量化
- 中山間地を含む地域の文化・資源を活用した経済基盤の強化
- 地域の生物資源と自然環境を活用した暖地型農林水産業の活性化
- 生態系サービス発揮機構の解明に基づく持続可能な生態系管理手法の開発
- 生物多様性の評価と保全及びその利活用
- 動植物・微生物の生理的機能及び生体機構の解明
- 動物の新規診断・治療法及び防疫方法の開発

研究プロジェクト一例

D Xで拓く宮崎の安心・安全未来づくり

宮崎大学独自のD X技術により、新しい社会システムの創出に取り組んでいます。

画像解析・A Iによる豚の体重の可視化や新生児非接触体重予測、遠隔での工場・施設等の見守り、A Iを用いた人体内シミュレーション手法開発、D Xによる地域の防災・国土強靱化、災害に強いエネルギーレジリエンスシステムの開発など、産学官が強固な連携を組んで研究を進め、社会改革に繋がるイノベーション創出を目指しています。



多様性を重視した地域社会の基盤構築

- すべての幼児・児童・生徒に対する学びの創造に関する研究
- 多様なリカレント教育・生涯学習のプログラム開発
- 次世代を育む周産期母子から乳幼児までの総合的ケア
- 出生前から終末期までの医療と社会の円滑なコミュニケーションの実践
- 地域全体を対象としたコホート研究と災害医療を含む包括的医療ネットワークの構築
- 地域社会のニーズに対応する柔軟で強靱な医療人育成実践研究
- 地域農業のスマート化による効率化
- 地域社会及び環境と調和したレジリエントな社会の構築
- 多文化共生社会における地域・交流・人材マネジメント研究

研究プロジェクト一例

地域シンクタンク機能の構築と高度化

行政や各種ビッグデータを活用しシンクタンク機能を高度化、経済動向の把握や将来課題の抽出及び経済シミュレーションによりEBPMに基づく政策形成を支援します。また、学内活動の地域経済への波及効果の測定や本学の役割等の可視化を行い、データサイエンスの知見をもとに研究シーズと地域ニーズをつなぐ学際的な課題解決を図ります。

